



アフターコロナの新時代は、私たちが「創」る！ ～地域を笑顔に…第43回体育大会(5/21)迫る♪

新型コロナウイルス感染症が5月8日をもって「感染症5類」に移行したことにより、3年あまりに及んだウイズコロナの生活も新たな時代を迎えました。本校第43回体育大会は、新時代を担う生徒の新たな学校文化づくりの始まりであり、地域を笑顔にする取組となることでしょう。乞う、ご期待♪



「チーム武蔵ヶ丘」で感動ある体育大会に！ 実行委員長 那須つく詩さん

1年生の頃の私は、運動が苦手で嫌いでした。でも、そんなできない私にさまざまな立場の先輩やクラスのなかまが優しく関わってくれたり、部活でも支えてくれたりしたことがきっかけで勇気もらい、体育委員長に立候補しました。今は体育大会実行委員長として活動していますが、みんなの前に立って話すのはとても緊張します。それでもみんなが支えてくれるから頑張れます。私はこれまでの経験を通して、「苦手なこと・できないことは、嫌いになる理由にはならない」と思うようになりました。

私は、順位や得点に関係なく、武中の全員に体育大会の取組を通してなかまとつながることの豊かさや、みんなでひとつのことを成し遂げる楽しさを味わってほしいです。そして保護者のみなさんや地域のみなさんにも、元気と笑顔を届けましょう。よろしくお祈りします。

みんなが楽しいと言える体育大会に！ 赤団団長 村本 響さん



私は、二人の団長(先輩)との出会いがきっかけで団長になりました。その先輩はリーダーシップがあり、多くの団員をまとめるのがとてもうまかったです。私もそんな立場を経験して、自分に挑戦してみたいと思うようになりました。実際には、みんなをまとめる

のはとても難しく、改めて先輩方の偉大さが分かりました。今年の体育大会はアフターコロナの最初の行事なので、赤団だけでなく学校全体で盛り上がりのあるものにしたいです。そして、運動が苦手な人も、いろいろな考え、みんなで楽しいと思える体育大会にしましょう。

全力・全笑「全勝」をめざして！ 緑団団長 西 拓哉さん



私は、小学校の頃から応援団をさせてもらってきましたが、団長の経験がありません。中学校では団長になって、自分の考えをみんなに伝えたり、逆にみんなの意見を取り入れて団の取組に生かしたりしたいと考えようになりました。また、みんなが意見が言える団の雰囲気をつくれれば、運動が苦手な人や集団での活動に不安がある人も楽しい

体育大会の取組になるのではないかと考えています。私ならきっとそんな団が創れると信じて自身自身に挑戦していきます。緑団のみなさん、全員で全力・全笑「全勝」を目指して頑張りましょう。

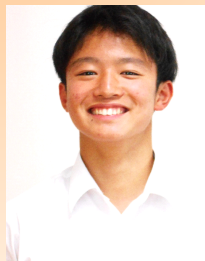
ありのままの自分で輝ける体育大会に！ 白団団長 牛島 未来さん



私は、陸上部のキャプテンになり、多くの人をまとめることの難しさを感じてきました。正直、何度も「やめたい」と思うときもありました。そんな自分を超えたいと思い、団長になる決心をしました。これまで私を支えてくださったたくさんの人に私が元気に明る

く団長の責任を果たしているところを見ていただきたいです。そして、全校生徒のみなさん、ありのままの自分で輝くために新し自分探しをしてみませんか。武中一丸！みんなで最高の体育大会を「創」りあげましょう。

みんなの心を大切に！ 青団団長 工藤 幹大さん



私は、1年生のときの体育大会で大勢の人をまとめて引っ張っていく先輩を見て憧れ、団長になろうと思いました。

私は、全力で青団のみんなをまとめていきます。一人一人がお互いの心を大切にして行動できれば、きっと運動が

苦手な人やこれまで体育大会を楽しみと思えなかった人も今年は楽しいと思えると考えています。そのためにも、練習の場面だけでなく、日常生活の場面からお互いに思いやりを持って過ごしていきましょう。